やまなしの歴史ガイドブック

やまなし再発見！
癒しの旅

週末は
山梨に
います。

やまなし観光推進機構

おすすめスポット

歴史の道を歩く

国名勝

猿橋（さるはし）

日本三奇橋の一つとして知られる猿橋は、甲州街道に架かる重要な橋です。木造では唯一現存する刎橋（はねばし）。猿橋は、7世紀に渡来人の志羅呼が猿が互いに体を支えあって橋を作ったのを見て造られたという伝説があります。

昭和7年（1932年）に国の名勝に指定されました。

大月市猿橋町猿橋
【車】中央自動車 大月ICより10分
【電車】JR中央本線 猿橋駅下車 徒歩10分

《国宝のある古刹》

おすすめスポット

歴史の道を歩く

清白寺（せいはくじ）

山梨市にある清白寺は、一説によると正慶2年（1333年）に創建され現在は、仏殿が国宝となっています。また、開基は、足利尊氏だと伝えられています。

山梨市三ケ所620
【車】中央自動車 勝沼ICより20分
【電車】JR中央本線 山梨駅下車 徒歩10分

おすすめスポット

歴史の道を歩く

大善寺（だいぜんじ）

葡萄（ぶどう）を持った薬師如来像があることで有名なこのお寺は、国宝や重要文化財を多く所蔵しています。お寺には宿坊があり、宿泊することも可能です。江戸時代の日本三名園といわれる池泉鑑賞式庭園を見ながら食事もできます。

また、毎年5月8日には藤切り祭が行われます。

甲州市勝沼町勝沼3559
【車】中央自動車 勝沼ICより2分
【電車】JR中央本線 勝沼ぶどう郷駅下車 タクシー5分

やまなしの歴史
ガイドマップ

CONTENTS

甲斐といえば 武田信玄

1 武田神社 P5
2 恵林寺 P6
3 甲斐善光寺 P7
4 安藤家住宅 P7
5 三分一湧水 P7

甲府城散策で タイムスリップ

6 甲府城 P8

今も楽しめる 歴史の道と川

7 芦川古民家群 P10
8 富士川舟運 P12

おすすめの 縁結びスポット

9 一宮浅間神社 P13
10 八雲神社 P13
11 放光寺 P13
12 山中諏訪神社 P13
13 軍刀利神社 P13

身が引き締まる 身延山の勤行

14 身延山久遠寺 P14

益々人気の 霊峰富士の今昔

15 富士山 P16
16 富士吉田市歴史民俗博物館 P16
17 旧外川家住宅 P17
18 北口本宮 冨士浅間神社 P17
19 忍野八海 P18
20 鳴沢氷穴 P18
21 富岳風穴 P18
22 御坂 天下茶屋 P19

歴史から広がる
やまなしの楽しみ方いろいろ・・・

戦国時代へタイムスリップ

武田信玄（たけだしんげん）

戦国時代、甲斐の国の武将としてその勢力を極めた武田信玄。山梨県内には、武田信玄にまつわる神社仏閣が多く残されています。戦国時代を生きた信玄の面影を感じる旅にご案内しましょう。

信玄のお顔（顔顔）いろいろ

信玄のお顔、さまざまな表情で描かれています。どのお顔があなたはお好みですか？

上・下　山梨県立博物館蔵

武田神社蔵

武田信玄画像
土佐光起筆　元禄元年（1688）
山梨県立博物館蔵

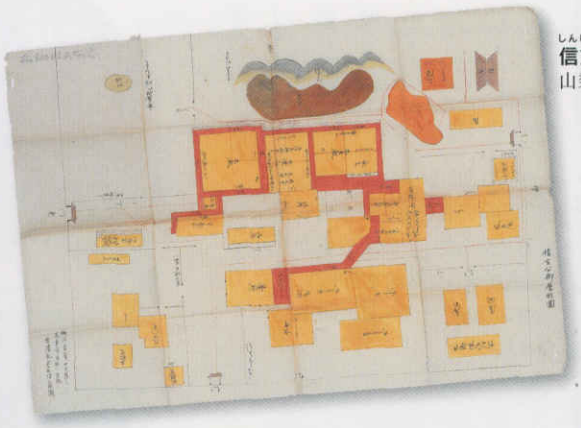
信玄ミニ知識

武田信玄は、甲斐の国（山梨県）に武田信虎の長男として生まれました。幼名を太郎、後に晴信（はるのぶ）といいます。太郎が3歳のとき、弟の次郎が生まれ、父・信虎は活発な太郎より、おとなしい弟を溺愛したといいます。しかし、太郎は父に嫌われても武士の子らしく武術に励み、成長していきました。太郎が兵法にも民事にも通じ、近臣からとても慕われていた反面、父はますます太郎を煙たがるようになります。信虎のワンマンぶりは、周りの家臣たちを困らせ、家臣たちは晴信に甲斐の国を納めてほしいとお願いをします。晴信は、周囲の意見を聞き、信虎を甲斐の国から親戚関係にあった駿河の国に追放することを決めました。信虎48歳、晴信21歳の時のことです。皆さんが知っている「信玄」という名前を名乗るようになるのは、出家をした39歳の時からです。

国史跡

武田氏館跡（躑躅ヶ崎館跡）

国指定史跡の「武田氏館」は、「躑躅ヶ崎館」とも呼ばれ、武田信玄の父、信虎が永正16年（1519）に石和からこの地に館を移したことに始まります。その後、信玄・勝頼と武田家当主の館として使われました。現在は、武田神社が鎮座するとともに、周辺は史跡公園として整備が進められています。



信玄公御屋形図
山梨県立博物館蔵

信玄を歩く・武田神社

晴信を中心に甲斐の国のこれからを話し合った場所が、躑躅ヶ崎館で一部は、現在の武田神社になっています。

武田神社は、大正8年に創建されました。大正天皇が即位した際に、信玄の墓前に従三位が贈られたのを機に、県民がその徳を慕い、民意の力で社殿が造営されました。

みどころ

名水「姫の井戸」

館跡には、いくつかの古井戸が残っていますが、その中でも「姫の井戸」は、信玄の息女誕生の際、産湯に使用されたことからこの名前がつけられました。現在でも自由に「お水取り」ができます。

奇木「三葉の松」

全国的にも珍しい三葉の松は、秋になると黄金色に紅葉します。落葉を財布に入れて、持ち歩くと「金運」にご利益があるといわれています。

武田神社 ■ 甲府市古府中町2611　Tel.055-252-2609　URL http://www.takedajinja.or.jp/
●アクセス　【車】中央自動車道 甲府昭和I.C.より30分　【電車】JR中央本線 甲府駅下車 バス約8分

甲州市指定文化財

武田不動尊坐像

信玄が30代の頃、京都の仏師に自らの姿をモデルにして造らせたもの。この頃の信玄は、脂が乗った時期でもあり、力強い風貌だったに違いありません。

恵林寺三門 県指定文化財

快川和尚が、織田軍の兵火で焼討ちを受けた場所に建っているこの門は、「三門」と呼ばれ、恵林寺の顔となっています。桜の季節、紅葉の季節と各季節によって楽しむことができます。

信玄を歩く・恵林寺

39歳で出家をし、晴信から信玄へと名前を変えた武田信玄。長年、彼が師と仰いでいた臨済宗、恵林寺の快川和尚の導きによるものでした。特に晩年、快川和尚は信玄の心の支えとなっていました。禅学の師匠として人間形成に大きな影響を与え続けたといわれています。甲府から恵林寺のある塩山まで信玄は幾度となく馬を走らせて、快川和尚の元を訪れたのでしょう。生前の希望により、恵林寺は現在、信玄の菩提寺となっています。

みどころ

うぐいす廊下

歩くと「キュッ、キュッ」と音をたてるうぐいす廊下。釘が出ない工法で造られており、当時は防犯対策としても利用されていました。

信玄公の墓石

樹齢数百年の杉の木に守られるように信玄公のお墓があります。「ここに骨が埋まっているかどうかはわからないけれど、恵林寺をとても大切にしていた信玄公の魂はここに眠っているに違いないと思っています」と住職が話してくれました。毎年4月12日の命日の日1日だけ、直接、墓前に線香を上げることが出来ます。

必見の日本庭園

庭園 国名勝

恵林寺の中で心癒される場所、それは何といっても夢窓国師作の庭園です。季節ごとにその色を変え、私たちに様々な表情を見せてくれます。恵林寺の庭を夢窓国師が造ったのは、京都の竜安寺を造る以前だといわれています。白い砂利の庭の模様は、住職たちの手によるもの。

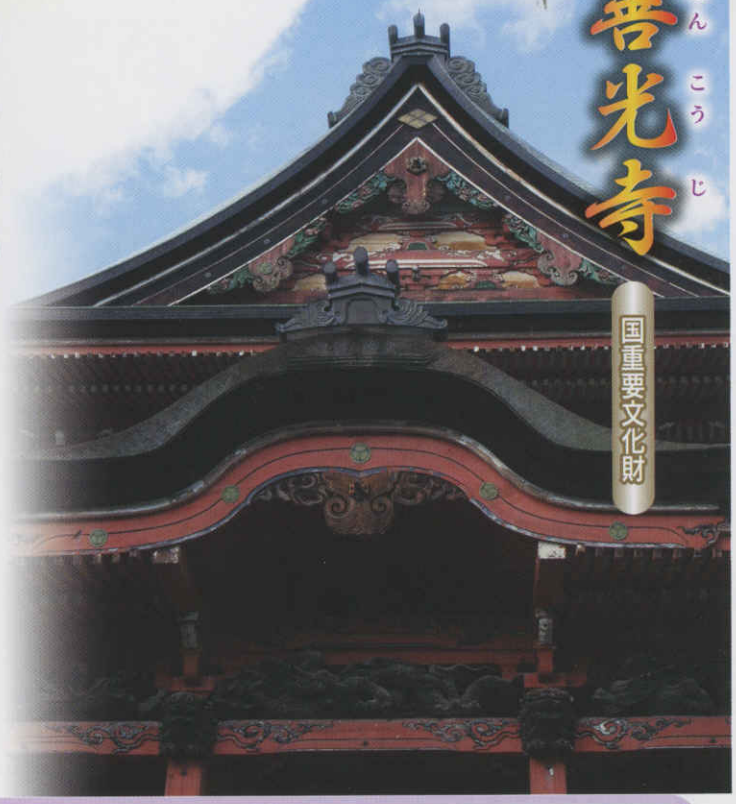
恵林寺 ■ 甲州市塩山小屋敷2280 Tel.0553-33-3011 URL http://www.erinji.jp/

●アクセス 【車】中央自動車道 勝沼I.C.より25分 【電車】JR中央本線 塩山駅下車 バス15分

信玄を歩く・甲斐善光寺

国重要文化財

甲斐善光寺と武田信玄の関わりは、信玄が川中島の合戦の折、信濃善光寺の焼失を恐れ、永禄元年（1558年）、御本尊善光寺如来像をはじめ、多くの宝物を奉還したことにはじまります。その後、武田家が滅びると、御本尊は当時の権力者、織田信長・徳川家康・豊臣秀吉氏と転々としましたが、慶長3年（1598年）に信濃の善光寺に戻りました。甲府では、御本尊の前に立っていた前立仏を新たに御本尊に定め、現在に至っています。



みどころ

鳴き龍

金堂中陣天井に描かれているのは二頭の龍。吊り天井となっているので、下から手を叩くと多重反響現象により、共鳴がおこります。この鳴き龍は、日本一の規模のもので、その響きも見事です。

木造阿弥陀三尊像（もくぞうあみださんぞんぞう） 国重要文化財

平安時代の半丈六阿弥陀三尊像二組が、重要文化財に指定されていますが、そのうち一組を宝物館で公開しています。第一次世界大戦の折には、善光寺の裏手にある富岡敬明男爵邸に運ばれ、保護されたとのこと。真ん中の阿弥陀さまを眺めていると心がとても洗われます。

源頼朝像 県指定文化財

日本最古の彫像として、文化財にも指定されている頼朝像。ここ数年、頼朝の面影がわかる唯一の彫像として、有名になっています

お戒壇廻り

金堂の下あるお戒壇廻りは、「心」の文字をかたどったものです。真っ暗闇の中を歩き、鍵に触れることで、御本尊様とのご縁を結んでいただくことができます。

甲斐善光寺 ■ 甲府市善光寺3-36-1　Tel.055-233-7570　URL http://www.kai-zenkoji.or.jp

●アクセス　【車】中央自動車道 一宮御坂I.C.より20分　【電車】JR中央本線 甲府駅下車 タクシー12分

信玄にまつわるおすすめスポット

三分一湧水（さんぶいちゆうすい）

武田信玄の知恵が光る伝説の湧水・三分一湧水は、日本名水百選に選定された湧水の一つです。水争いが激しかった時代、農業用水を3つの村に分配させるために、湧水口に三角の石柱を築き、三方向に流水を分岐させたといわれています。現在では、三分一湧水館の中で、名水で打つそばや農産物の直売を楽しむことができます。

北杜市長坂町小荒間292-1　TEL0551-32-0058

●アクセス　【車】中央自動車道 長坂ICより20分
【電車】JR小海線 甲斐小泉駅下車 徒歩10分

南アルプス市の旧甲西町南湖地区にある旧家。安藤家は代々西南湖村の名主を務めた村役人階層で、祖先の小尾由行はかつて武田家の家臣でした。安藤という姓は母方のもの。昭和51年（1976年）5月に国の重要文化財に指定されました。現在では南アルプス市が管理をし、一般公開もしています。

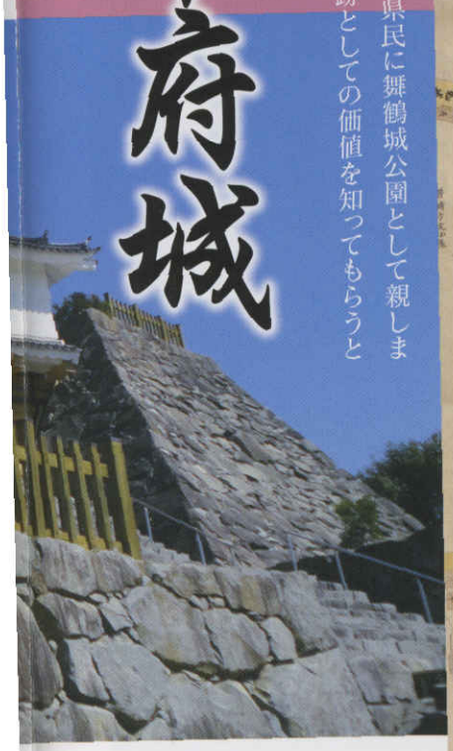
南アルプス市西南湖4302　TEL 055-284-4448

●アクセス　【車】中部横断自動車道 南アルプスICより10分
【電車】JR身延線 東花輪駅下車 タクシー30分

安藤家住宅（あんどうけじゅうたく） 国重要文化財

よみがえる甲府城

山梨県の県庁所在地・甲府市の中心街に位置する甲府城跡は、県民に舞鶴城公園として親しまれてきました。ここでは甲府城の歴史を紐解きながら、県指定史跡としての価値を知ってもらうと同時に、甲府城の楽しみ方を紹介します。



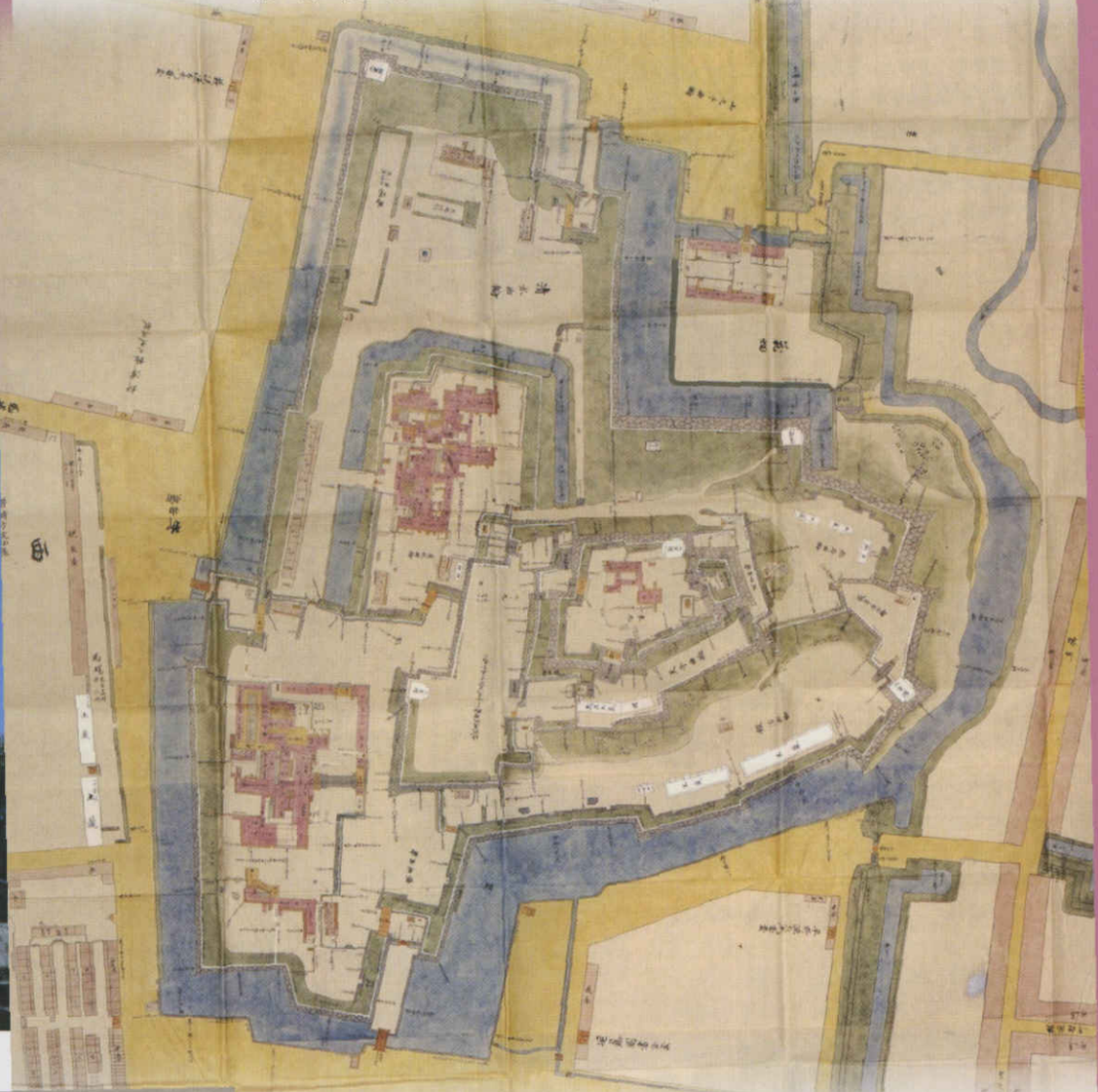
県指定史跡

甲府城

解き明かされた甲府城の歴史

甲府城は、武田氏が織田信長に滅ぼされた後、豊臣秀吉の家臣である浅野長政・幸長親子により、文禄2～5年（1593～1600年）までの間に造られました。往時の甲府城は、現在残っている範囲よりはるかに規模が大きく、現在山梨県庁がある場所や甲府駅北口周辺まで広がっていました。

近年行われた発掘調査では、金箔が貼られた鯱瓦や浅野家の家紋を施した瓦などが見つかっており、関東の徳川家康を牽制するために、この地に城が築かれたのではないかと考えられています。



甲府城絵図 財団法人 郡山城史跡・柳沢文庫保存会蔵

柳沢吉保

甲府城と柳沢吉保

江戸時代中期、六代将軍家宣の時代に柳沢吉保が甲府藩主となりました。吉保が甲斐を治めたのは20年足らずと短い間でしたが、その間に甲府城の大改修が行われ、城内の曲輪や建物の名称が大幅に変更され、城下町が整備されました。

吉保の公用日記『楽只堂年録』に綴じ込まれている甲府城絵図は、甲府城改修のために作成された絵図と考えられています。

吉保は武田遺臣の子孫であり、武田信玄を尊敬していたといわれていますが、吉保自身は生涯一度も甲府城に入ることはなく、甲府城主として城へ入ったのは息子の吉里でした。

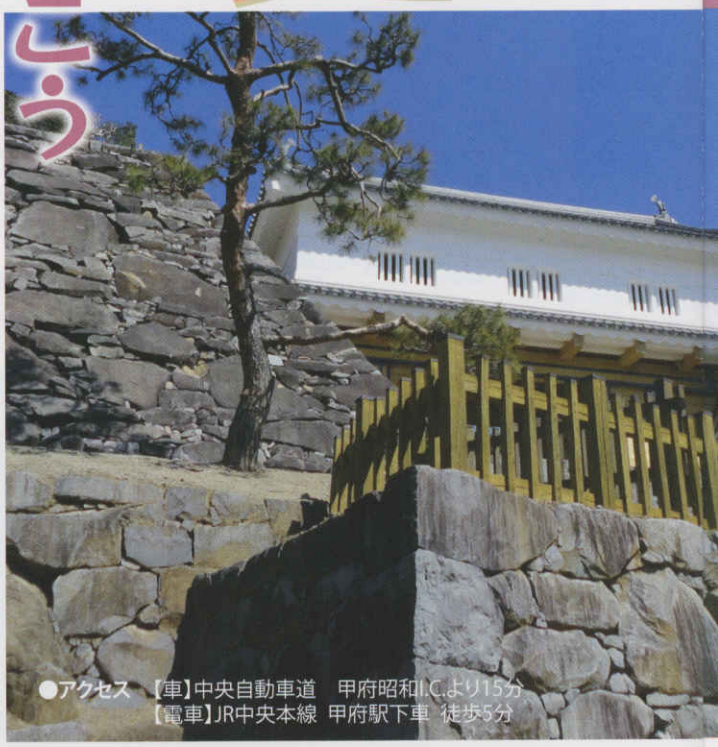
常光寺蔵（韮崎市）

柳沢吉保は同じ絵師に多くの自画像を描かせ、様々な所に納めていました。これは、正装をした吉保。手前にある文書には武田家のことが書かれているといわれています

Time slip

タイムスリップ！甲府城跡を歩こう

甲府城跡へ登ると甲府盆地の景色が一望できます。天気のよい日には南側に富士山、北側には八ヶ岳、西側には南アルプスや甲斐駒の姿を見ることができます。甲府城跡から眺める甲府の街は、碁盤の目のようになっていて、かつてこの街はまさしく城下町であったことがわかります。



●アクセス　【車】中央自動車道　甲府昭和I.C.より15分
【電車】JR中央本線　甲府駅下車　徒歩5分

みどころ

稲荷櫓（いなりやぐら）

入母屋造で本瓦葺の二重二階櫓。鬼門の方向に位置しています。現在、資料館として甲府城の歴史などについて見て楽しむこともできます。

鉄門（くろがねもん）

2階建ての櫓門（やぐらもん）として本丸南側に建築された鉄門は、明治初期まで存在していたことが、歴史資料などから判明しています。（平成25年1月 竣工）

石垣

甲府城の石垣は、築城期に構築された野面積（のづら）みで日本有数のものです。

こんなところが特徴

兄弟石

もともと一つだった石を2つに割って使っていることからこういう名前がつきました。この写真を見ながら、ぜひ探してみてください。

矢穴（やあな）

石を割る矢を打ちこんだ穴のこと。城内には掘りかけの矢穴などが残る石材があり、当時の採石の技術を知ることができます。

お花見スポット

城内にはいくつかのお花見スポットがあります。桜の時期は、ぜひ歩いて回ってみてください。

馬頭観音とぬくもりの集落

歴史の道を歩く

若彦路

上芦川を歩いてみると、そこには昔から変わらない風景がそのまま残っていました。

山梨県内には、江戸時代に整備された甲州街道をはじめとする街道が、現在でも私たちの暮らしの中に息づいています。戦国時代に甲斐の守りの要所として関所が設けられていた上芦川。若彦路沿いに発展した芦川集落をご紹介します。

■兜造民家と石垣の風景の集落を歩く

笛吹市にある芦川町は、現在４つの地区（上芦川、新井原、中芦川、鶯宿）に分かれており、全部で１５０棟を超える兜造民家が集落全体に残っています。江戸時代、谷村藩（現在の都留市付近）が良質の絹織物の産地であったことから、芦川地区で生産される良質の絹糸はとても重宝されてきました。明治時代になり、養蚕はさらに盛んになり、この頃に多くの家々の屋根が兜造に改築されました。

迫力たっぷりの兜造り（鶯宿地区の風景）

見渡す限りの兜造りの家々。今でも住宅として日々の生活が営まれています。

兜造民家とは、光と風を取り入れるため屋根の一部を切り上げたもので、養蚕の盛んであった山梨、長野に多く見られます。

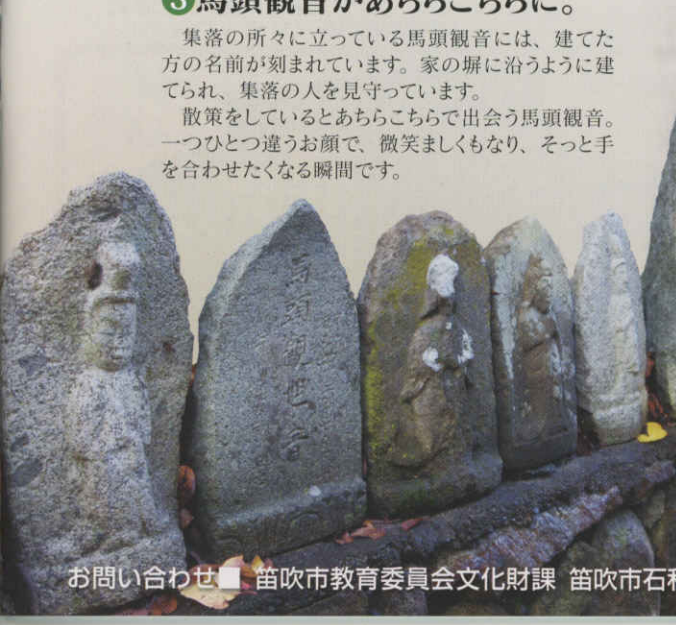
芦川町には150棟を越える兜造民家群が残っていますが、これほどの数の古民家群が残る地域は全国的にも例がありません。

上芦川集落散策マップ

❸馬頭観音があちらこちらに。

集落の所々に立っている馬頭観音には、建てた方の名前が刻まれています。家の塀に沿うように建てられ、集落の人を見守っています。

散策をしているとあちらこちらで出会う馬頭観音。一つひとつ違うお顔で、微笑ましくもなり、そっと手を合わせたくなる瞬間です。



お問い合わせ■ 笛吹市教育委員会文化財課 笛吹市石和町市部809-1 Tel.055-261-3342

❶諏訪神社の大ケヤキ

笛吹市の天然記念物にも指定されている大ケヤキのある諏訪神社。上芦川集落の入り口に人々を出迎えるかのように立っています。

❹山からの水

まず驚いたのは、家の脇を流れる水。その勢いと音にびっくり!この水は山から流れでて、今でも人々の暮らしの中で使われています。

❷東林寺の題目塔

東林寺前には題目塔が立っています。これは、芦川独特のもので、二股に分かれています。

天保8年(1837年)上芦川村絵図
上芦川区

❺旧関所付近

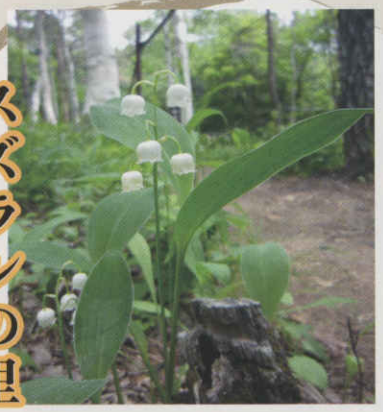
ここが関所の付近

❻日本の原風景

歩いていると、懐かしい茅葺き屋根の家を見つけました。縁側に座り、遠くの景色を眺める。これだけでも心が洗われる時間が過ごせます。

おすすめスポット

スズランの里



日本随一といわれる日本すずらんの原生地がある芦川には、今でも日本の原風景が残っています。毎年6月初旬には、すずらんの里まつりが行われます。

すずらんの里まつり実行委員会　TEL.055-298-2111
●アクセス　【車】中央自動車道 甲府南ICより30分
【電車】JR中央本線 石和温泉駅下車 バス40分

❼水もキラキラ

山から流れてきた水は、集落のあちらこちらに貯められています。水は無色透明で、とても輝いていました。

静岡から山梨

大正期の富士川舟運

富士川は、駿河湾から静岡県、山梨県、長野県へと続く河川です。その昔、富士川は富士山から発する川であると信じられていた時代もありました。海から富士川をさかのぼり、多くの物資や文化が山梨県へもたらされてきました。富士川の周りには、現在でも集落が川に沿った形で点在しています。明治36年（1903年）の甲府駅までの中央線開通、昭和2年の富士身延鉄道の完成まで、山梨の流通を支えてきた富士川舟運ですが、平成24年（2012年）、100年ぶりに富士川舟下りが復活しました。富士川から身延町中富までの舟下りを体験しながら、富士川の歴史、当時の人々の暮らしに思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

鰍沢乗船場

上流へ向かう帰帆

下り船

（富士川舟運）歴史の川を下る

みどころ

江戸時代の初期から昭和のはじめまで、300年以上続いた富士川の舟運。ゆったりと流れる富士川に身を任せながら、舟に揺られ、40分。いつも通る国道から見る景色とは違い、自然と一体になった気分。山と空、川の流れに包みこまれ、毎日の忙しい日々を忘れてしまいます。

気分は旅人?! 富士川舟下り

寛政2年（1790年）創業の酒蔵。春鶯囀という名は、交流があった歌人与謝野晶子が命名したものです。

萬屋醸造店

南巨摩郡富士川町青柳 1202-1　TEL：0556-22-2103

●アクセス　【車】中部横断自動車道 増穂ICより5分
【電車】JR身延線 市川大門駅下車　タクシー10分

紫陽花寺としても有名な妙法寺。ダイヤモンド富士が見える場所としても有名な高下地区も近くです。

小室山妙法寺

南巨摩郡富士川町小室3063　TEL:0556-22-0034

●アクセス　【車】中部横断自動車道 増穂ICより10分
【電車】JR身延線 鰍沢口駅下車　タクシー12分

日本の名湯百選に選ばれた下部温泉と、砂金採り体験ができる湯之奥金山博物館。

下部温泉郷・湯之奥金山博物館

南巨摩郡身延町下部 1130-1　TEL：0556-20-3001

●アクセス　【車】中部横断自動車道 増穂ICより30分
【電車】JR身延線 下部温泉駅下車　徒歩5分

園内にはイベント広場、自然観察の森。「富士川・切り絵の森美術館」では切り絵作家の作品をご覧いただけます。

富士川クラフトパーク 富士川切り絵の森美術館

南巨摩郡身延町下山 1597　TEL：0556-62-4500

●アクセス　【車】中部横断自動車道 増穂ICより30分
【電車】JR身延線 下部温泉駅下車　タクシー5分

富士川舟運株式会社

南巨摩郡富士川町鹿島102-2

電　話　0556-27-0194
出発時間　10時～14時（季節により時間に変更あり）
定休日　毎週火曜日
乗船料金　大人2,200円（2,500円）　こども1,000円（1,250円）
（　）内は土日祝祭日料金。団体割引もあります。

●アクセス　【車】中央自動車道　甲府南I.C.より20分
【電車】JR身延線「鰍沢口駅」下車　タクシー5分

しあわせが訪れるパワースポット

Power Spot

おすすめの5ケ所

●やまなしの縁結びのお寺と神社

ここ最近、女性の間ではやっているのがパワースポット巡り。女性誌でも特集を組むなど、全国のパワースポットの紹介をしています。「しあわせになりたい」「素敵な方と出会いたい」とは、いつの時代になっても女性は願うもの。そこで、今回は、寺や神社が多い山梨県のパワースポットをご案内します。パワースポット巡りをして、来年こそはいいご縁に恵まれますように。ぜひ、一つずつ回ってきてください。

昔から男性と女性の気になる神社仏閣です

1 一宮浅間神社（いちみやあさま）

清め砂がお持ち帰りできる！

「清め砂」があり自由に持っていくことができます。さらに、ここをくぐると厄が払える干支があります。

笛吹市一宮町一ノ宮1684
Tel.0553-47-0900 ●アクセス 【車】中央自動車道 勝沼ICより5分
【電車】JR中央本線 甲府駅下車 バス約40分

2 八雲神社（やくも）

知る人ぞ知る縁結びのご利益

今年こそ、良縁を…と思っている女性の方々、ぜひ甲府へ来たら、足を運んでみてください。

甲府市猪狩町44（昇仙峡）
●アクセス
昇仙峡 【車】中央自動車道 甲府昭和ICより40分
【電車】JR中央本線 甲府駅下車 バス40分
八雲神社 昇仙峡ロープウェイ「パノラマ台駅」より徒歩3分

3 放光寺（ほうこう）

花と縁結びで有名なお寺なので、多くの女性が境内の花と縁結びを祈願するために訪れています。

甲州市塩山藤木2438
Tel.0553-32-3340
●アクセス
【車】中央自動車道 勝沼ICより28分
【電車】JR中央本線 塩山駅下車 バス20分

四季の花を愛でながら縁結び

4 山中諏訪神社（やまなかすわ）

古くから安産祭りで知られる山中諏訪神社は、全国から妊産婦や新婚女性が集まる神社として有名です。

南都留郡山中湖村山中御所13
Tel.0555-62-3952
●アクセス
【車】東富士五湖道路 山中湖ICより5分
【電車】富士急行線 富士山駅下車 バス35分 徒歩10分

安産守護の神様

5 軍刀利神社（ぐんだり）

厄よけや縁結びにご利益があるといわれていますが、神社全体のパワーを感じてほしい場所です。

上野原市桐原4134
Tel.0554-67- 2916
●アクセス
【車】中央自動車道 上野原ICより30分
【電車】JR中央本線 上野原駅下車 バス30分

パワーを感じる厄除けと縁結び

悠久のときを歩む 身延山

…季節で歩く 久遠寺…

歴史と信仰が息づく身延山久遠寺は、日蓮宗の総本山であり、開祖日蓮大聖人が晩年を過ごされた霊山です。現在では、全国各地から心の癒しを求めて多くの方が訪れます。今回は、久遠寺の四季折々の楽しみ方をご紹介します。

春

桜色に染まる久遠寺

春、久遠寺といえば、桜です。境内にある樹齢400年の2本のしだれ桜は、久遠寺の歴史そのもの。桜の花は日蓮上人ととても関係が深く、弘安5年（1282年）10月12日に亡くなられた日、秋だというのに桜の花が咲いたと言い伝えられています。

夏

始まりを感じる夏

桜の季節が終わると、身延山は辺り一面、新緑に包まれます。夏のこの時期は、日蓮上人が身延山を開山された記念の日、開闢会（かいびゃくえ）が6月15日から17日の3日間行われます。

秋

信仰の熱い思いを感じる

弘安5年（1282年）に御入滅された日蓮上人の御遺徳を偲ぶ御報恩の儀式。命日の12日の前後2日間を合わせた3日間（10月11日～13日）に渡り、法要が行われます。12日の夜には、夜を徹して説教が繰り広げられます。

冬

年のはじめ心新たに

毎年1月1日～3日まで新年祝祷会（しんねんしゅくとうえ）が行われます。凛とした本堂で行われる祝祷会には、多くの参拝者が訪れます。今年も新たな気持ちで新年を迎える。心を落ちつく時間を過ごすことができます

体験してみよう

◎宿坊（しゅくぼう）体験

身延山久遠寺の周りには、宿坊と呼ばれる宿泊施設が20カ所あり、現在でも参拝者の憩いの場となっています。（地図参照）もともとは、僧侶たちが寝泊まりして修行をする場所だったのですが、現在では信者をはじめ、久遠寺へ参拝する旅行者にも宗派には関係なく気軽に利用できる宿泊施設となっています。宿坊へ泊まりたいとご希望の方は、まずは身延山観光協会へご連絡を。

■ 身延町身延山観光協会
TEL 0556-62-0502

◎朝勤（ちょうごん）で心を清める

本堂で毎朝行われる朝勤。法主さまをはじめ、久遠寺の僧侶が集まり、説教する姿はとても迫力があります。慌ただしい日々を振り返り、自分と向き合う時間。こちらも誰でも参加することができます。申し込みも不要ですので、お気軽にご参加ください。

■ 身延山久遠寺
南巨摩郡身延町身延3567
TEL 0556-62-1011（代）

アクセス ■【車】中央自動車道 甲府南I.C.より60分　【電車】JR身延線 身延駅下車 バス12分

宿坊に泊まり、
朝のお勤めでリフレッシュ。

奥の院思親閣

身延山ロープウェイ

身延山久遠寺

妙石坊
麓坊
清水坊
本行坊
北之坊
岸之坊
樋澤坊
林蔵坊
智寂坊
武井坊
竹之坊
恵善坊
三門
山本坊
松井坊
窪之坊
志摩坊
覚林坊
大善坊
大乗坊
端場坊
久遠寺しだれ桜
総門
富士川
JR身延線
身延駅

四季折々の古き身延山を楽しむ

歴史の道を歩く

国選定 赤沢宿（あかざわじゅく）

身延山と七面山を結ぶ身延往還。「赤沢宿」はその宿場町です。かつて多くの参詣客を迎え入れた由緒ある宿場と石畳は今でもその景観を残しており、平成5年に国の重要伝統的建造物群に選定されました。

南巨摩郡早川町赤沢
【車】中央自動車道 甲府南ICより60分
【電車】JR身延線 身延駅下車 タクシー45分

みどころ

総門から三門へ

身延山久遠寺への一歩は、総門です。総門をくぐり、門前町を通り抜けると、久遠寺の玄関ともいうべき三門が姿を表します。三門を経て菩提梯二八七段を登れば、涅槃の本堂に至り、覚りの境地に入ることができるといわれています。

菩提梯（ぼだいてい）

三門

身延町指定文化財

総門

富士の山を眺め、学び、知る

日本一の山、富士山。季節を通してその姿を変え、私たちの目を楽しませてくれます。今回は富士山を眺めるだけでなく、富士の歴史を学び、その奥深さを知ってもらうために、富士山に関係のあるさまざまなものを見て、学んで、歩けるコースを紹介します。

富士山と共に

富士山の歴史を語る上で欠かせないのが、富士講。その起源は戦国時代から江戸時代初期だといわれています。言い伝えによると、富士山麓の人穴（静岡県富士吉田市）で修行した角行藤仏（かくぎょうとうふつ）という行者に創唱された富士信仰の一派に由来され、その後、発展してきたとされています。

主に富士講の活動は、定期的に行われる「オガミ（拝み）」と呼ばれる行事と富士登山（富士詣）から成り立っています。

江戸から吉田までの道筋は、新宿を起点とする甲州街道を大月で分かれ、谷村から上吉田に向かう「富士道（ふじみち）」を通るのが一般的で、上吉田の入り口は金鳥居が目印となっていました。

晴山講富士参詣絵馬／明治33年（1900）／御師上文司
当時の富士講の信仰登山はこのような格好で富士を目指しました。

富士信仰の面影

現在の金鳥居は、車で通り抜けられますが、かつて、ここはとても神聖な場所でした。歩いてくぐると富士山の信仰の世界へと足を踏み入れることになるという謂れがあります。

江戸時代の最盛期には約１００軒ほどの御師（おし）が上吉田に居住していました。御師とは、信仰目的で富士山に登る「道者」の案内や宿泊を賄った人たちのことです。現存する御師の家は数少なくなっていますが、富士講の歴史などについては、富士吉田市内にある歴史民俗博物館で当時の様子を垣間みることができます。当時の御師の家を再現したジオラマや信者が御師に寄進したという神殿、飲食器などが展示されています。信者は自分たちの御師を一番にしたいという強い思いで、神殿を寄進したり、宿となる家を建てたりしていました。富士山に信仰ありという時代の流れを感じてみてください。

見

大正期の金鳥居と登山道里程元標金鳥居は吉田口登山道の起点でした。

博物館内に再現されている金鳥居と茶屋

富士吉田市歴史民俗博物館

富士吉田市上吉田2288-1

電　話　0555-24-2411
開館時間　9時30分～17時（入館は16時30分まで）
定休日　毎週火曜日（火曜日が祝日の場合、その翌日）
観覧料　大人300円（240円）　小中学生150円（120円）

●アクセス　【車】中央自動車道河口湖ICより10分
【電車】富士急行線「富士山駅」下車　バス10分

国重要文化財

北口本宮冨士浅間神社の役割

1900年以上の歴史がある冨士浅間神社は、冨士登山道吉田口の入り口でもある霊験あらたかな神社です。社記によれば、冨士山の大噴火を恐れる人々の心を鎮めるために、垂仁天皇の御代に勅令をもって、火山鎮護の神、木花開耶姫を祀ったのがはじまりだといわれています。

明治時代に描かれた上吉田に並んだ御師の町並みを見ても、浅間神社を中心に家々が並んで建っていました。樹齢数百年の杉木立の中に佇む浅間神社は、古来より冨士山と深く関わりがあります。毎年6月30日には、お道開きの神事が境内の登山門で行われます。冨士信仰の道と親しまれてきた吉田口登山道が山頂まで続いています。

訪

●アクセス　【車】中央自動車道河口湖ICより5分
【電車】冨士急行線「富士山駅」下車　徒歩20分

8月26日、27日に行われる「吉田の火祭（鎮火大祭）」は、日本三奇祭の一つに数えられています。北口本宮冨士浅間神社と境内社諏訪神社の秋祭りであるとともに、冨士山のお山じまいの祭りでもあります。

8月26日に行われる高さ3メートルの筍形にしつらえた70本以上の大たいまつが炎に包まれる光景は壮観の一言です。この祭りが終ると、冨士山は短い夏を終え、冨士北麓地域は秋を迎えます。

国重要無形民俗文化財

吉田の火祭

見

訪

冨士吉田市歴史民俗博物館付属施設

国重要文化財

御師（おし）旧外川家住宅（きゅうとがわけじゅうたく）

国道139号（冨士みち）の金鳥居から約300m南西側にある旧外川家住宅は、かつては、80軒以上あったという御師の家。旧外川家住宅の母屋は1768（明和5）年に建造され、御師の家の中でも古く、貴重です。

開館時間　午前9時30分～午後5時（入館は4時30分迄）
休館日　火曜日（火曜日が祝日の場合は、その翌日）
観覧料　大人100円　小中高生50円

●アクセス　【車】中央自動車道河口湖ICより5分
【電車】冨士急行線「富士山駅」下車　徒歩5分

食

吉田のうどんのルーツ

市内に60軒以上のうどん屋さん

何世代にも伝わるうどん文化

富士吉田市で有名なものといえば、何といっても吉田のうどん。富士講が盛んだった時代、御師の家でも参詣客相手にうどんが売られていました。それは専門的な店舗を構えたものではなく、一般の居住用家屋の一部を昼間だけ開放してうどんを提供していたといわれています。吉田のうどんはその時の名残なのか、今でも自宅の一部を開放しているうどん屋さんが多くみられます。コシ、硬さ、太さに特徴を持つ吉田のうどんは、キャベツと馬肉を乗せて食べるのが特徴です。

国天然記念物

忍野八海を歩く

忍野八海は八つの湧水池から成っており、富士山の雪解け水が80年の歳月をかけ濾過し、八ヶ所の池（「出口池」「御釜池」「底抜池」「銚子池」「湧池」「濁池」「鏡池」「菖蒲池」）を作りました。池はどれも神秘的で美しく、冬場は池より朝霧が立ち込め、とても幻想的な姿を見せてくれます。富士の恵みともいうべき忍野八海の水は、桂川の最上流の水源地として、遠くは相模湖まで通じ、京浜地方の大切な給水源として大きな役割を果たしています。

●アクセス　【車】中央自動車道河口湖ICより15分　【電車】富士急行線「富士山駅」下車　バス18分

写真提供：アドワークス・長田義己

眺め、学び、知る

国天然記念物

鳴沢氷穴・富岳風穴

鳴沢氷穴と富岳風穴は、青木ヶ原樹海にあり、富士山周辺の代表的な溶岩洞窟です。真夏でも氷が見られ、今から約1150年前の貞観6年（864年）富士山の側火山長尾山の噴火の際、古い寄生火山の間を灼熱に焼けた溶岩流（青木ヶ原丸尾）が流れ下ってできたのが、この二つのトンネル式になった洞窟です。

昭和4年に天然記念物に指定され、世界的に紹介されました。地質学上、貴重な存在となっています。

見

鳴沢氷穴（なるさわひょうけつ）

●内部の気温は平均3度と低く、一年中氷におおわれています。

問合せ先：鳴沢氷穴　TEL 0555-85-2301

富岳風穴（ふがくふうけつ）

●なだらかな横穴型洞窟なので、お子様でも歩きやすいです。

問合せ先：富岳風穴　TEL 0555-85-2300

鳴沢氷穴・富岳風穴　入洞料金（共通）

大人（中学生以上）通常　280円　　小人（小学生）通常　130円

●アクセス　【車】中央自動車道河口湖ICより20分　【電車】富士急行線「河口湖駅」下車　バス30分

Mt.Fuji

富士の山を

太宰治も愛した富士の山

太宰治の作品『富嶽百景』の中にはさまざまな富士の姿が描かれています。この作品は、昭和14年に発表されたもので、太宰本人の体験に基づく小説です。昭和13年、井伏鱒二が仕事場にしていた御坂峠にある天下茶屋に辿りつきました。天下茶屋の2階にあった井伏の仕事部屋から毎日富士と向かい合っていた太宰は、その様子を「おあつらえむきの富士である」と書いています。

その後、太宰は井伏の紹介で、甲府の娘とお見合いをすることになります。お見合いの席にも富士山頂大噴火口の鳥瞰写真が飾ってありました。富士を眺めながら『富嶽百景』を読むのもよし。読んでから眺めるのもよし。天下茶屋には井伏や太宰が通っていた時代そのままの面影が今でも残されています。

御坂 天下茶屋

昭和9年にお店を構えた天下茶屋は、木造2階建ての茶屋で峠を行き交う人々のために食事をふるまっていたのが始まりでした。古くから多くの文人が訪れ、中でも有名なのが井伏鱒二と太宰治です。現在でも、太宰も食したといわれているほうとうやそば、みそ田楽など田舎料理を楽しむことができます。

食見訪

御坂 天下茶屋

南都留郡富士河口湖町河口2739　TEL 0555-76-6659

○太宰治文学記念室

天下茶屋（本店）2階に、太宰治が滞在した部屋を復元し、当時使用した 机や火鉢、初版本やパネル等を展示しています。

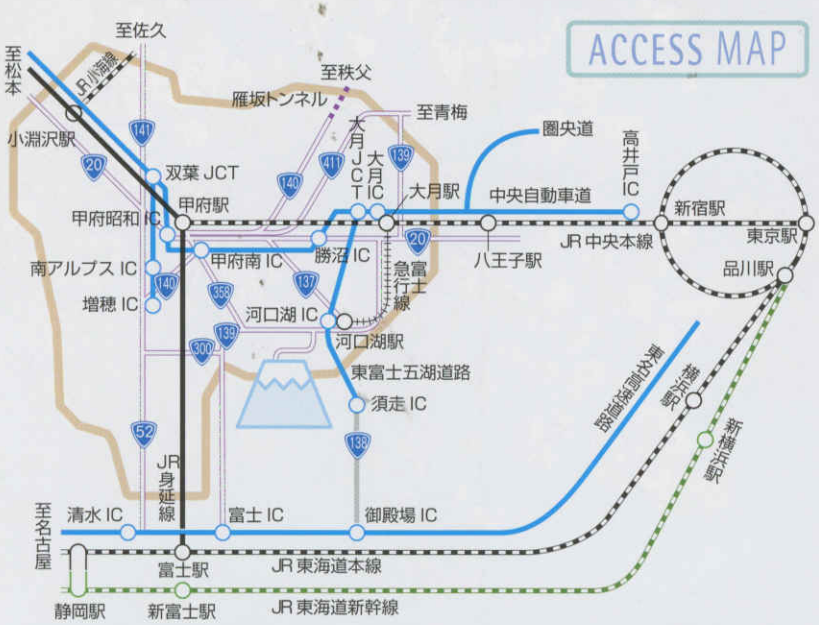
入 館 料：天下茶屋ご利用のお客さまは無料

営業時間：9時から日没まで

営業期間：4月上旬～12月上旬までは無休。冬期休業

●アクセス　【車】中央自動車道河口湖ICより15分
【電車】富士急行線「河口湖駅」下車　バス30分

ACCESS MAP



中央自動車道・中部横断道・東富士五湖道路でのアクセス

埼玉方面から	圏央鶴ヶ島IC	圏央道／30分	八王子Jct	中央自動車道／60分	甲府昭和IC
長野方面から	松本IC	長野自動車道／15分	岡谷Jct	中央自動車道／60分	甲府昭和IC
東京方面から	高井戸IC	中央自動車道／1時間30分			甲府昭和IC
愛知方面から	名古屋IC	中央自動車道／3時間			甲府昭和IC
静岡方面から	静岡市方面	国道52号線／1時間30分	増穂IC	中部横断自動車道・中央自動車道／20分	甲府昭和IC
	御殿場方面	国道138号線／30分	須走IC	東富士五湖道路・中央自動車道（大月Jct経由）／1時間	甲府昭和IC

JR中央本線・東海道新幹線でのアクセス

新宿駅	JR中央本線（特急）約1時間30分		甲府駅
松本駅	JR中央本線（特急）約1時間10分		甲府駅
名古屋駅	JR東海道新幹線 約1時間	静岡駅	JR身延線 約2時間10分 甲府駅

各地からの所要時間

新幹線（東京まで）
- 盛　岡（東北新幹線）→約2時間30分
- 秋　田（秋田新幹線）→約4時間
- 仙　台（東北新幹線）→約1時間40分
- 山　形（山形新幹線）→約2時間50分
- 新　潟（上越新幹線）→約2時間20分
- 長　野（長野新幹線）→約1時間40分
- 新大阪（東海道新幹線）→約2時間40分

飛行機（羽田・信州まつもとまで）
- 札　幌⇨羽　田→約1時間30分
- 函　館⇨羽　田→約1時間20分
- 福　岡⇨羽　田→約1時間30分
- 札　幌⇨信州まつもと→約1時間40分
- 福　岡⇨信州まつもと→約1時間40分

山梨県立考古博物館

縄文土器をはじめ山梨県内の遺跡から発掘された土器や石器などの考古資料を展示しています。

甲府市下曽根町923
TEL 055-266-3881

山梨県立博物館

「山梨の自然と人」をテーマに、山梨の歴史や文化などを自然との関わりの中で紹介します。

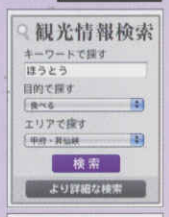
笛吹市御坂町成田1501-1
TEL 055-261-2631

富士の国やまなし観光ネット

http://www.yamanashi-kankou.jp/

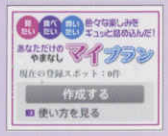
あなたの旅をもっと楽しく！お店は携帯でかんたん検索

行ってみたい観光スポットが決まったら、「富士の国やまなし観光ネット」で検索し、[見る][食べる][温泉][体験]などのアイコンをクリック！
地図上で『情報誌にはない"独自の穴場スポット"』を簡単に見つけることができ、山梨をもっと楽しむことができます。



マイプランでオリジナル観光ルートを作ろう！

作成したマイプランは印刷したり、自分や友人の携帯電話や対応するカーナビにメールにて送信できます。



地元の自慢が詰まった手作りの旅

いい旅やまなしナビ

「いい旅やまなしナビ」では、山梨ならではのツアーをテーマごとにご提案します！
「地元の自慢が詰まった手作りの旅」をお楽しみください！

http://www.yamanashi-kankou.jp/y-tabi/

いい旅やまなしナビ　検索

●電話でのお申込みは
お申込み専用ダイヤル
☎055-231-2230
お申込み営業時間9:00～17:00（土・日・祝も可）
※コースにより内容変更、受付終了の場合もございます。
詳しくは専用ダイヤルか、WEBサイトでご確認ください。

http://www.pref.yamanashi.jp/gakujutu/bunkazaihogo/bunkazai_guide0001.html

●観光のお問い合わせは
やまなし観光推進機構
☎055-231-2722
甲府市丸の内1-8-17 山梨県庁 西別館1階

●富士の国やまなし館　東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル1階 ☎03-3241-3776
●山梨県大阪事務所　大阪市北区梅田1-1 大阪駅前第3ビル21階 ☎06-6344-5961
●山梨県立富士ビジターセンター　南都留郡富士河口湖町船津6663-1 ☎0555-72-0259